

令和2年7月22日

保護者・PTA会員の皆様

岡崎市立羽根小学校長 小田 哲也
羽根小学校PTA会長 丸山 和孝

SNS事業者による「#NoHeart NoSNS」をスローガンに適正利用を呼びかけ（通知）

盛夏の候、日頃は本校教育への御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

令和2年7月21日付で報道されたように、ツイッター社やLINEなどの会員制交流サイト（SNS）事業者が匿名の誹謗（ひぼう）中傷を減らそうと、SNSの適正な利用を一斉に呼びかけることが始まりました。

各社は、「#NoHeart NoSNS（ハートがなけりゃSNSじゃない!）」をスローガンとするメッセージを、ハッシュタグ（検索目印）を付けて発信し、利用者にSNSの使い方について考えてもらうようにします。

インターネット上の中傷を巡っては、民放テレビ番組の問題が大きく報道されましたが、最近、小中学校の児童・生徒、保護者同士においても、SNSの書き込みで、人の心を傷つける問題があり、市内でも多く報告があります。こういった問題は、複雑化し、多くが解決できないことが現状です。

本校でも、SNSの書き込みにより、問題になることがあります。学校への相談には、児童だけでなく保護者の書き込みに関わることもあります。

つきましては、本校の児童や保護者の皆様の健やかな暮らしのため、SNS事業者の「#NoHeart NoSNS」に理解をいただき、SNSの適正な利用をお願いします。

なおこの通知文は、SNS事業者のハッシュタグ（検索目印）の利用を、保護者の皆様に依頼するものではなく、SNS事業者の「#NoHeart NoSNS」の呼びかけの報道を機会に、SNSの適正な利用を依頼するものです。

○資料

令和2年7月21日中日新聞朝刊記事（写）